



第77回 日本癌学会学術総会

The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association

サバイバー・科学者 プログラム (SSPプログラム)

日本癌学会では、がん研究を支援するサバイバー（リサーチ・アドボケート）育成のためのプログラム「サバイバー・科学者 プログラム（略称 SSPプログラム）」を創設しました。9月27日（木）～29日（土）に大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪で開催される第77回日本癌学会学術総会では、患者アドボケート（患者支援活動をしている方）として、学術総会プログラムにご参加いただく方を募集します。本プログラムの参加者は全員、総会2日目に現在の活動状況等についてのポスター発表、3日目にグループ・プレゼンテーションとしてグループでの成果発表をしていただきます。

参加ご希望の方は、以下のプログラムの概要、応募資格等を必ずお読みいただき（必須）、7月27日（金）7月31日（火）17：00までに所定の申込方法にてお申込みください。

開催概要

日時	2018年9月27日（木）～29日（土）
会場	大阪国際会議場（グランキューブ大阪） （〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51） リーガロイヤルホテル大阪 （〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68）
目的	がん患者や家族を支援する団体運営者または個人が、日本癌学会学術総会への参加を通じてがん研究に関する理解を深めることで、がん研究に対してがん患者や家族の立場から参画する「リサーチ・アドボケート」が養成されること。また、リサーチ・アドボケートとがん研究者が協働してがん研究の推進を図ることで、がん医療の向上に寄与すること。
概要	SSPプログラム参加者は第77回日本癌学会学術総会において、SSPプログラムの受講、プログラムセッションの聴講、ポスターの閲覧、並びにあらかじめ指定されたテーマによるポスター掲示・発表ができます。また、学術総会参加費の免除、学術総会参加に伴う旅費交通費の助成が行われるとともに、プログラム修了者には修了証が授与されます。
募集人員	10名程度（初参加／2回目以降併せて16名程度）
募集締切	2018年 7月27日（金） 7月31日（火） 17:00

応募資格

SSPプログラムに応募するには、以下の要件の全てを満たすことが必要です。

1. がん患者や家族を支援する団体運営者または個人であること。
2. SSPプログラムの全日程に参加し、指定された全てのプログラムに参加すること。

HOME

学術会長挨拶

開催概要

組織委員会

演題募集

プログラム

参加者の皆様へ

座長・演者の皆様へ

利益相反開示について

事前参加登録

ランチョンセミナー事前予約

宿泊案内

会場案内

託児室のご案内

企業の皆様へご案内

ブレスの皆様へご案内

リンク

関連会合開催申込

ポスター掲示・チラシ設置申込

プログラム集購入申込

市民公開講座

3. 学術総会会場のポスター会場において、あらかじめ指定されたテーマによるポスター掲示・発表を行うこと。
4. 医師、歯科医師、メディカルスタッフ（看護師・薬剤師・放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士等の医師以外の医療従事者）、製薬企業関係者でないこと。
5. 特定の治療法、代替療法、健康食品等を推奨する団体運営者または個人でないこと。
6. 特定の政治団体、宗教団体を支持する団体運営者または個人でないこと。
7. 暴力団または暴力団員との関わりがないこと。

プログラム

■1日目 9月27日（木）

8:00～8:20 参加受付

8:20～8:50 「アドボケートメンター【注1】によるオリエンテーション」
 天野 慎介（グループ・ネクサス・ジャパン）
 桜井 なおみ（CSRプロジェクト）
 眞島 喜幸（パンキャンジャパン）

8:50～9:00 「開会式」 @メインホール

9:00～9:50 「SSP プログラム開会挨拶」
 野田 哲生（がん研究会がん研究所）
 Margaret Foti（AACR：American Association for Cancer Research）
 「SSP プログラムの概観」
 眞島 喜幸（パンキャンジャパン）
 「SSP プログラムのナビゲーション」
 桜井 なおみ（CSR プロジェクト）

9:50～11:10 学術総会口演の聴講

11:10～12:00 「SSP 基礎講座・がん研究の歴史」
 野田 哲生（がん研究会がん研究所）

12:00～12:50 「SSP 基礎講座・がんのゲノム解析：基礎研究から保険診療へ」
 河野 隆志（国立がん研究センター研究所）

12:50～16:10 学術総会口演の聴講

16:10～17:00 「SSP 基礎講座・大腸癌化学療法の進歩」
 馬場 英司（九州大学）

17:00～17:10 「初日のまとめ」
 天野 慎介（グループ・ネクサス・ジャパン）

■2日目 9月28日（金）

8：30～9：00 SSPプログラム参加者によるポスター掲示【注2】

9：00～11：10 学術総会口演の聴講

11：10～12：00 「SSP基礎講座・クリニカルシーケンスを活用した治療開発」
土原 一哉（国立がん研究センター先端医療開発センター）

12：00～12：50 「SSP基礎講座・遺伝性腫瘍」
三木 義男（東京医科歯科大学）

12：50～13：50 「アドボケートメンターとのグループセッション」
桜井 なおみ（CSR プロジェクト）
眞島 喜幸（パンキャンジャパン）

13：50～16：30 学術総会口演の聴講及びポスターディスカッション（発表）の準備

16：30～18：00 SSPプログラム参加者によるポスターディスカッション（発表）【注2】

18：00～18：20 SSPプログラム参加者によるポスター撤去

18：20～18：30 「2日目のまとめ」
天野 慎介（グループ・ネクサス・ジャパン）

19：30～ 「名誉会員・評議員合同懇親会」
（※）SSPプログラム参加者は全員参加となります

■3日目 9月29日（土）

9：00～9：50 「SSP基礎講座・がん免疫療法の現状と今後の展開」
西川 博嘉（名古屋大学/国立がん研究センター）

9：50～12：00 学術総会口演の聴講

12：00～13：50 昼食及びグループ・プレゼンテーションの準備

13：50～15：10 学術総会口演の聴講

15：10～16：10 「グループ・プレゼンテーション」【注3】
グループ1のテーマ
「がん免疫療法の新展開～併用療法やCAR-T細胞療法への展開」
グループ2のテーマ
「ゲノム解析を通じたがん腫横断的な治療～がん治療のパラダイムシフト～」

16：10～16：40 修了証書授与式
閉会挨拶 野田 哲生（がん研究会がん研究所）

【注1】

アドボケートメンターは、がん患者や家族を支援する団体運営者または個人の立場から、SSPプログラム参加者に対して助言を行います。

【注2】

SSPプログラム参加者は、2日目の午前9：00までに自身のポスター掲示を行い、2日目の16：30から18：00までの「ポスターディスカッション」において、自身のポスターについて短時間発表ならびに質問などに応じることが必要です。ポスターの内容については、「所属団体または個人の活動紹介」（内容に「所属団体または個人の活動からみたがん研究への期待」を一部含むこと）とし、応募時にその抄録を提出することが必要です。詳しくは別紙「[SSPプログラム参加者のポスターについて](#)」をご参照ください。

【注3】

SSPプログラム参加者は、「がん免疫療法の新展開」または「ゲノム解析を通じたがん腫横断的な治療」のいずれかについて、学術総会の口演を聴講して学び、3日目の「グループ・プレゼンテーション」において、グループ発表することが必要です。発表の際には、アドボケートメンターや、サイエンティフィックメンターがサポートします。サイエンティフィックメンターは、がん研究に関わる医療者または研究者の立場から、SSPプログラム参加者に対して専門的な助言を行います。

注意事項

SSPプログラム参加者は、以下の注意事項を守ることが必要です。募集要項並びに注意事項をお守りいただけない場合には、選考後であっても参加取り消しや、学術総会参加に伴う旅費交通費等の返還を求める場合がありますので、予めご了承ください。

1. SSPプログラム参加者は、日本癌学会事務局及び SSPプログラム運営者からの指示に従うようにしてください。
2. SSPプログラム参加者は、企業等がスポンサーとなって開催されるランチョンセミナーの聴講や、企業等がスポンサーとなって展示されるブースへの立ち入りはできません。
3. SSPプログラム参加者は、学術総会における口演への、発言や質問は禁止です。
4. 治療中などの理由で特別なケアが必要な方は、事前にお知らせ下さい。なお、特別食は癌学会側で準備することは出来かねますので、ご自身で持参いただく必要がありますこと予めお断りしておきます。
5. 学術総会におけるポスターセッション（SSPプログラム参加者作成のポスターを除く）や口演において、写真撮影や録画、録音は禁止されています。
6. SSPプログラム参加者は、やむを得ない事情により、SSPプログラムの一部または全てを欠席する場合には、日本癌学会事務局へすみやかに連絡をしてください。欠席の場合には、学術総会参加に伴う旅費交通費等の返還を求める場合があります。
7. 最終日にお渡しします SSPプログラム修了証書は、3日間にわたり開催されるSSPプログラム全てに参加された場合のみ授与されます。

応募方法

SSPプログラム申し込みフォームをダウンロードし必要事項を入力の上、**2018年 7月27日（金） 7月31日（火） 17：00まで**に日本癌学会事務局（jca.office@imic.or.jp）までメール添付でご提出ください。

※申し込みは締め切りました。

SSPプログラム申し込みフォーム（Word）

選考方法

日本癌学会協働委員会委員及びアドボケートメンターで構成される選考委員会において選考します。

選考結果は、2018年8月31日（金）までに日本癌学会事務局よりご連絡いたします。

お問い合わせ先

日本癌学会事務局

E-mail : jca.office@imic.or.jp FAX : 03-3358-1633

[▲Page Top](#)

【総会事務局】

〒565-0871
大阪府吹田市山田丘2-2
大阪大学大学院 消化器外科

【運営事務局】

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 コングレビルディング
株式会社コングレ内
Tel : 06-6229-2555 FAX : 06-6229-2556
E-mail : jca2018@congre.co.jp

Copyright © 2018 The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. All Rights Reserved.

[ホーム](#)[会長ご挨拶](#)[開催概要](#)[日程表・プログラム](#)[演題登録](#)[事前参加登録](#)[参加者の皆様へ](#)[演者・司会・座長の皆様へ](#)[教育セミナー](#)[メディカルスタッフセミナー](#)[がん患者・支援者プログラム
\(Patient Advocate Leadership\(PAL\)\)](#)[市民公開講座\(横浜開催\)](#)[市民公開講座\(大阪開催\)](#)[会場のご案内](#)[宿泊のご案内](#)[企業の皆様へ](#)[託児室のご案内](#)[関連会合・委員会開催
お申し込み](#)[利益相反 \(COI\) について](#)[会期中ポスター掲示・
チラシ設置](#)[プレスの皆様へ](#)[リンク](#)[各種お問合せ](#)

学術集会本部

大阪大学大学院医学系研究科
 器官制御外科学講座(泌尿器科学)
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

運営事務局

株式会社コングレ内
 東京都千代田区麹町5-1
 弘済会館ビル6階
 TEL:03-5216-5318
 FAX:03-5216-5552
 E-mail:jSCO2018@congre.co.jp
 (平日9:30~17:30)

がん患者・支援者プログラム

[TOP](#) > [がん患者・支援者プログラム](#)

第56回学術集会「がん患者・支援者プログラム」への応募にあたっては、以下の内容をご確認の上ご応募いただきますようお願い申し上げます。

- [開催概要 \(日時、場所、会長、学会テーマ\)](#)
- [はじめに~必ずお読みください~](#)
- [本プログラムの目的](#)
- [応募期間](#)
- [応募資格](#)
- [参加タイプ/コースと助成](#)
- [応募方法](#)
- [選考方法](#)
- [募集要項担当](#)
- [問合せ先](#)

開催概要

会期	2018年10月18日(木)~20日(土)
会場	パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
会長	野々村 祝夫 (大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(泌尿器科学) 教授)
学会テーマ	調和と融合による次世代癌治療

はじめに ~必ずお読みください~

日本癌治療学会は、がんの予防、診断及び治療に関する研究の連絡、提携及び促進を図り、がんの医療の進歩普及に貢献し、もって学術文化の発展及び人類の福祉に寄与することを目的とする学術団体です。学術集会はその中心となる事業で、1年間の研究の成果を互いに発表し、議論し、さらなるがん治療の進歩を期する重要な会です。

その学術集会において、がん患者、支援者のみなさんと共に考え、役割を分担し、本邦のがん治療をよりよいものとするため、第47回学術集会からペーシェント・アドボカシーに関するPALプログラムを開始いたしました。みなさんに、学術集会参加の門戸を開き、参加支援をするもので、参加支援については、学会員の年会費を中心とした学会経費によって行われています。

PALプログラムは、第47回から数えて10年の間に、PAL委員会を設置し運営企画を担当、PALの意味を「Patient Advocate Leadership」と位置づけ、リーダーシップ養成のためのプログラムとすること、よりレベルの高いプログラムや学術集会プログラムへの参加の希望に応えるコースとしてアドバンスコースの新設など、順調に発展して参りました。

第56回でも、充実したPALプログラムとすべく準備をしております。次項から成ります募集要項をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

会期中、がん治療に関する学術的な情報を積極的に収集し、また、PALプログラム参加者のみなさんとの交流を深め、今後の活動に活かしていただくことを期待しております。

なお、学術集会プログラム内容は当然、高度専門的なものとなりますし、まだ確定的でないものも含まれます。学術集会本来の意味をご理解いただきますようお願いいたします。

以下、プログラムの応募にあたって、最低限ご理解いただきたいことを記載しております。必ず目を通し、理解をした上での応募をお願いいたします。

本プログラムの目的

- (1) がんの患者さん・ご家族を支援する団体運営者または個人が、内外のがん医療に関する知識と最新の情報を得ていただくこと。
- (2) 学会で得た知識や最新の情報をもとに、ご自身の活動地域や領域において、日本のがん医療やがんの患者さん・ご家族の支援の質を向上させるための活動のリーダーとしてご活躍いただくこと。

応募期間

タイプA・B・Cの応募を締め切りました。

タイプA→B: 2018年4月17日(火)～5月31日(木) 17時

6月7日(木) 21時に延長しました

タイプC: 2018年4月17日(火)～9月5日(水)

**※タイプA・タイプB(ご希望の方)ポスター発表用講演要旨の提出締切は、
参加登録期間同様 6月7日(木)21時 となっております。**

応募資格

本会における「PAL」はPatients Advocate Leadershipを意味し、本プログラムはリーダーシップを養成するためのプログラムです。そのために、下記の応募資格を設けております。本プログラムの趣旨をご理解いただき、下記をご確認のうえご応募ください。

- ①がんの患者さん・ご家族を支援する団体運営者または個人であること
 - * 営利目的、営利活動として患者さんやご家族を支援している団体、個人は参加できません。
 - * 医療関連企業にご勤務の方はPAL参加できない場合があります。
- ②特定の治療法、代替療法、健康食品等を推奨する団体の運営者または個人でないこと
- ③特定の政治団体、宗教団体を指示する団体の運営者または個人でないこと
- ④反社会勢力と関わりがないこと
- ⑤応募フォームに記載された「学術集会に参加するにあたりお守りいただきたいこと」を必ず守ること
- ⑥学術集会参加後に、学術集会で得た知識や最新情報をもとに、ご自身の活動地域や領域において、日本のがん医療やがん患者さん・ご家族の支援の質を向上させるための活動を行っていただくこと

上記応募資格をお守りいただけない場合は、選考後であっても参加取り消しや助成金の返還等をお願いする場合があります。次年度以降のPAL参加をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

○医療従事者等の応募について

医師・歯科医師・医療関係者・企業・メディカルスタッフ（看護師・薬剤師・放射線技師・理学療法士・作業療法士等の医師以外の医療従事者）でPALプログラムに応募される場合は、患者・家族あるいは患者会等の活動者としての立場での参加となります。PAL必須プログラムへの参加や企業ブースへの立ち入り禁止などのPAL参加ルールを順守していただきます。

参加タイプ/コースと助成

PALプログラムには次の参加タイプ/コースがあり、タイプとコースを組み合わせで参加登録していただきます。それぞれのタイプ/コースに、以下表のとおり参加条件、参加必須プログラムがあります。それぞれの参加条件、参加必須プログラム、コースの特徴をよくご確認のうえ、ご応募ください。

タイプ	参加日程	助成	コース	参加必須プログラム
A	3日間全日程参加	あり	アドバンス	オリエンテーション
				PALセミナー
				アドバンスプログラム（模擬倫理委員会）
				ポスター発表
			ベーシック	オリエンテーション
				PALセミナー
				Meet in PAL
				ポスター発表
B	1日以上参加	一部あり	アドバンス	オリエンテーション
				PALセミナー
				アドバンスプログラム（模擬倫理委員会）
				希望者のみポスター発表
			ベーシック	オリエンテーション
				PALセミナー
				Meet in PAL

				希望者のみポスター発表
C	1日以上参加	なし		オリエンテーション
				PALセミナー

*アドバンスコース/ベーシックコースの特徴は次のとおりです。

【アドバンスコース】

PALプログラムに2回以上参加された方向け参加型セッションにご参加いただけます。また、参加必須セッション数は少なくし、学術集会プログラムにより多く参加できるようなプログラムを編成しています。

【ベーシックコース】

本会PALプログラムに初めて及び2回目の参加の方向け（2回目以上参加の方も可）PALの基礎を学ぶために、参加必須セッションを設けたコースです。

*参加必須プログラムにご参加いただけない場合は、お申し込みのタイプの修了条件を満たしていないと判断される場合があります。

（タイプAで申し込まれて、必須セッションに参加されなかった場合、タイプBとしか認められない場合があります。）

*学術集会プログラムには、ご参加いただけないセッションがあります。それらについては、会場内で皆様にわかるように明示します。また、オリエンテーションでもご説明いたします。

【タイプA参加者（最大50名）】

■参加条件

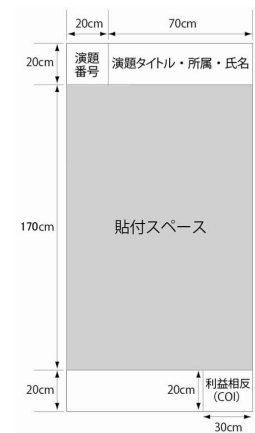
- ①第56回日本癌治療学会学術集会の3日間の全日程に参加できること
- ②オリエンテーション（18日（木）8:30～9:00）に参加できること
- ③参加必須プログラムに参加できること
- ④PAL ポスター会場でポスター発表を行えること

●ポスター発表について

指定のサイズのポスター（右図参照ください）を作成，PAL ポスター会場に貼付して，参加者に関覧いただくものです。また，ポスター発表者には，決められた時間に，ポスターの前でポスター閲覧者とディスカッションしていただけます。参加応募時に，ポスター内容の要旨（ポスター発表要旨）を提出していただけます。

●ポスター発表テーマ（次の中からお選びください）

臨床試験 がん教育 サバイバーシップ 就労支援 ピアサポート
 がん相談（がん）情報の提供 予防と啓発 緩和ケア 患者教育
 *ただし、参加回数が3回以下の方は、上記に加えて「ご自身（ご所属団体）の活動紹介」でも発表していただけます。



⑤アドバンスコース希望の場合は、過去の本会PALプログラムに2回以上の参加実績があること

⑥学術集会参加後に所定のレポートを提出すること

■助成内容

- ・学術集会参加費用（30,000円）の免除
- ・旅費（交通費・宿泊費）の助成（上限あり：早割などをご利用ください。）

〔タイプA旅費（交通費・宿泊費）助成金額〕

※パシフィコ横浜 から100km未満は宿泊費は対象外とさせていただきます。
 ※下記表のとおり、地域に応じて記載の金額を一律で支給させていただきます。

地域	都道府県	金額
北海道	北海道	45,000 円
	青森県	
東北	岩手県	50,000 円
	宮城県	
	秋田県	
	山形県	

	福島県	
関東	茨城県	35,000 円
	栃木県	
	群馬県	
首都圏	埼玉県	15,000 円
	千葉県	15,000 円
	東京都	9,000 円
	神奈川県	9,000 円
甲信越	新潟県	47,000 円
	富山県	
	石川県	
	福井県	
	山梨県	
	長野県	
東海	岐阜県	45,000 円
	静岡県	
	愛知県	
	三重県	
近畿	滋賀県	53,000 円
	京都府	
	大阪府	
	兵庫県	
	奈良県	
	和歌山県	
中四国	鳥取県	47,000 円
	島根県	
	岡山県	
	広島県	
	山口県	
	徳島県	
	香川県	
	愛媛県	
	高知県	
九州	福岡県	48,000 円
	佐賀県	
	長崎県	
	熊本県	
	大分県	
	宮崎県	
	鹿児島県	
沖縄	沖縄県	46,000 円
<p>※往復の交通・宿泊はご自身で手配いただきます。助成金額は国家公務員旅費規程に則って算出しておりますが、金額が不足する場合はご自身にて負担くださいますようお願いいたします。</p> <p>※天候不良による旅程変更については、ご自身でご対応ください。</p>		

【タイプB参加者（最大50名）】

■参加条件

- ①第56回日本癌治療学会学術集会の1日目または2日目のうち1日以上参加できること
- ②参加当日のオリエンテーションに参加できること
1日目：18日（木）8:30～9:00または13:00～13:30
*1日目のみ参加の方は、8:30からのオリエンテーションに参加してください。
2日目：19日（金）8:30～9:00
- ③参加当日の参加必須プログラムに参加できること
- ④希望者のみポスター発表が可能。希望者は、助成タイプAの参加条件④を確認の上、発表すること。
- ⑤アドバンスコース希望の場合は、過去の本会PALプログラムに2回以上の参加実績があること
- ⑥学術集会参加後に所定のレポートを提出すること

■助成内容

- ・学術集会参加費（30,000円）を2,000円に減額。
- ・原則として旅費（交通費・宿泊費）の半額助成（上限あり：早割などをご利用ください。）

〔タイプB旅費（交通費・宿泊費）助成金額〕

※パシフィコ横浜 から100km未満は宿泊費は対象外とさせていただきます。

※下記表のとおり、地域に応じて記載の金額を一律で支給させていただきます。

地域	都道府県	金額
北海道	北海道	22,500 円
東 北	青森県	25,000 円
	岩手県	
	宮城県	
	秋田県	
	山形県	
関 東	茨城県	17,500 円
	栃木県	
	群馬県	
首都圏	埼玉県	7,500 円
	千葉県	7,500 円
	東京都	4,500 円
	神奈川県	4,500 円
甲信越	新潟県	23,500 円
	富山県	
	石川県	
	福井県	
	山梨県	
東 海	長野県	22,500 円
	岐阜県	
	静岡県	
	愛知県	
近 畿	三重県	26,500 円
	滋賀県	
	京都府	
	大阪府	
	兵庫県	
	奈良県	
中四国	和歌山県	23,500 円
	鳥取県	
	島根県	

	岡山県	
	広島県	
	山口県	
	徳島県	
	香川県	
	愛媛県	
	高知県	
九州	福岡県	24,000 円
	佐賀県	
	長崎県	
	熊本県	
	大分県	
	宮崎県	
	鹿児島県	
沖縄	沖縄県	23,000 円

※往復の交通・宿泊はご自身で手配いただきます。助成金額は国家公務員旅費規程に則って算出しておりますが、金額が不足する場合はご自身にて負担くださいますようお願いいたします。

※天候不良による旅程変更については、ご自身でご対応ください。

【タイプC参加者】

■タイプCについて

本タイプは、医師、歯科医師、医療関係者、企業、メディカルスタッフ以外の、がんの患者さん・ご家族を支援する団体運営者または個人に、今後の地域活動のための情報収集目的で、日本癌治療学会学術集会に参加していただくため、第52回学術集会から設けられました。

医師、歯科医師、医療関係者、企業、メディカルスタッフ以外の方は、本タイプに申し込み、審査に通らないと学術集会には参加できません。参加を検討されている方は、必ずご登録ください（**当日参加受付はありません。本当に参加できるかどうかわからない場合でも、まずはご登録ください**）。

■参加条件

- ①第56回日本癌治療学会学術集会のうち1日以上参加できること
- ②参加当日のオリエンテーションに参加できること
 - 1日目：18日（木）8:30～9:00または13:00～13:30
 - *1日目のみ参加の方は、8:30からのオリエンテーションに参加してください。
 - 2日目：19日（金）8:30～9:00または13:00～13:30

■助成内容

- ・学術集会参加費（30,000円）、旅費交通費共に、助成なし（全額自己負担）

■応募期間

- ・タイプCのみ、応募締切を **9月5日（水）** といたします。

応募方法

以下の[新規登録]ボタンより、応募フォームに必要事項（300～500字以内の「活動歴」「企画案」もございます）をご入力の上ご登録ください。

新規登録

選考方法

- (1) 選考委員会による選考が行われます。構成は以下のとおりです。
第56回日本癌治療学会学術集会
日本癌治療学会社会連携・PAL委員会患者連携・PALワーキンググループ
- (2) 選考にあたっては、上記各応募資格を満たしている応募者を対象として、オンライン登録された内容をもとに選考を行います。

- (3) 応募フォームに記載された個人情報等については、本プログラムの選考および日本癌治療学会からの連絡に使用いたします。
- (4) 選考委員に対して、本選考に関するお問合せを直接・間接的に行うことはご遠慮ください。
- (5) 選考結果は、タイプA・Bは2018年7月上旬頃に、タイプCは9月下旬頃に、メールにて通知し、後日参加者の手引きをお送りいたします。
- (6) 学術集会には参加できないセッションがあり、参加手引きやオリエンテーションで説明します。
- (7) 上記ルールをお守りいただけない場合は、本要項をご理解いただけないものとし、選考の対象外となりますので予めご理解ください。

担当

第56回日本癌治療学会学術集会

日本癌治療学会社会連携・PAL委員会患者連携・PALワーキンググループ

委員長 富田 尚裕

委員 有賀 悦子、柏葉 匡寛、佐々木 治一郎、谷野 裕一、田畑 務、
山田 岳史、山本 幸子

患者連携・PAL委員 天野 慎介、鈴木 牧子、野田 真由美、古谷 浩、三好 綾、
矢後 綾子、山田 富美子

顧問 相羽 恵介

問合せ先

運営事務局 PALプログラム担当

株式会社コングレ内

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階

TEL : 03-5216-5318 FAX : 03-5216-5552

E-mail : jsco2018-pal@congre.co.jp

第 77 回日本癌学会学術総会 SSP プログラム (2018 年 9 月 27 日～29 日／大阪国際会議場)

第 56 回日本癌治療学会学術集会 PAL プログラム (2018 年 10 月 18 日～20 日／パシフィコ横浜)



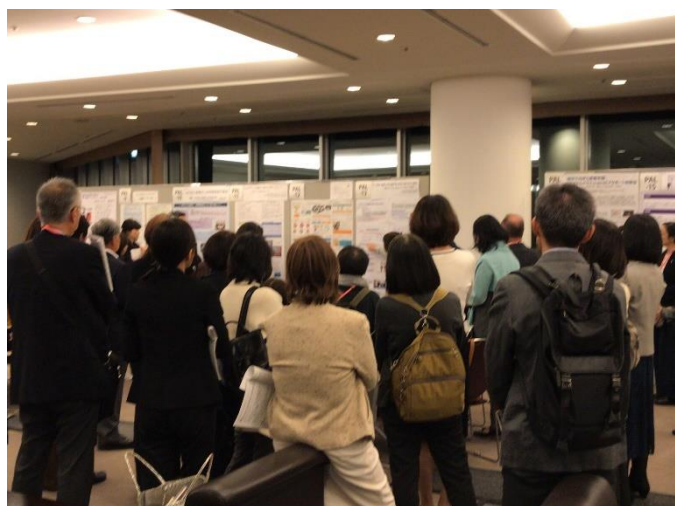
プレゼンテーションに関するディスカッション
(第 77 回日本癌学会学術総会)



日本癌学会理事へのグループプレゼンテーション
(第 77 回日本癌学会学術総会)



日本癌学会 SSP プログラム参加者の集合写真
(第 77 回日本癌学会学術総会)



参加者によるポスターディスカッション
(第 56 回日本癌治療学会学術集会)



PAL プログラム参加者による模擬倫理委員会
(第 56 回日本癌治療学会学術集会)



日本癌治療学会 PAL プログラム参加者の集合写真
(第 56 回日本癌治療学会学術集会)



資料2

「医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI)」 へのAMEDの取組について

日本医療研究開発機構
統括役 泉 陽子

1. 背景 (国内外の状況と研究費配分機関としての課題)

PPI (Patient and Public Involvement : 患者・市民参画)

海外 (主に英国・米国) の状況 ~国レベルでの動きがあり、海外のFAにおいてPPIの取組は「通常業務化」~

- 臨床研究等におけるPPIに関する積極的な動き
【例】英国NIHRでは研究費申請に際しPPIの記載欄を設けるとともに、促進のためのプログラム“INVOLVE”を設置
- 参画する内容も多種多様 (例 : 申請書の審査、評価、研究テーマの優先順位づけ 等)

「欧米におけるPPIの取組に関する成熟度は、日本の20年先をいく」 (有識者)



国内の状況 ~PPIの重要性が認識され、取組がなされる機運が高まりつつあるものの、ごく一部の研究者が自主的に試行する段階~

- 第3期がん対策推進基本計画 (平成29年10月24日閣議決定) には、今後取り組むべき施策として「AMEDは、海外の研究体制と同様、我が国でも患者やがん経験者が研究のデザインや評価に参画できる体制を構築するため、平成30(2018)年度より、患者、がん経験者の参画によって、がん研究を推進するための取組を開始する。また、国は、研究の計画立案と評価に参画可能な患者を教育するためのプログラムの策定を開始」とあるが、**関連する法令・指針、公的な研修制度は現時点でなく、具体的な動きは確認できず。**
- がん以外の疾患領域では、ごく一部の研究者がPPIの取組を自主的に (有志で) 試行する状況
- 厚生労働科学特別研究事業「アレルギー疾患対策に関する研究基盤の構築」研究班による「免疫アレルギー研究10カ年戦略策定に資する報告書」(平成30年3月30日) では、「患者を含む全国民が参画し、その一人一人の貢献を重要視する免疫アレルギー疾患の国際的研究開発基盤の確立」(Goal II) 達成に向けたAction Planのひとつとして「Patient Public Involvement(PPI)の推進に関する研究」(II a) を提示。

1. 背景 (国内外の状況と研究費配分機関としての課題)

PPIへの取り組みが遅れていると指摘されているものの、導入には課題山積

- “何に”、“どのように”、患者・市民に参画を求めるのか
拙速なPPI導入は研究者側にとっても、患者・市民側にとっても負担となり、結果的に研究開発の停滞・遅延につながる危険性
- (わが国の) 医療研究開発FAとしてのPPI取組の“第一歩”は何か
医療研究開発の実施体制・FA体制は国ごとに異なり、PPIをめぐる文化的・社会的な差異も大きく影響

「臨床研究等における患者・市民参画に関する動向調査」(平成29-30年度)

この調査とアウトプット自体が
AMED初のPPIの取組による産物

【背景・目的】

医療研究開発の推進を使命とするAMEDとして、患者・市民参画のあり方を、今後検討する際の基礎情報や資料を得る

【主な実施内容】

国内外におけるPPI実態把握、有識者委員会設置と意見聴取、
研究者・研究支援者・患者団体とのガイドブック作成に係る意見交換 等

【調査による成果】

- ① 医療研究開発の推進を使命とするAMEDにとっての
“患者・市民参画(PPI)”の基本的考え方の創出 ※次ページ参照
- ② 研究者・研究支援者・患者団体等が参照することができる、
患者・市民参画に関するガイドブックの作成 ※来春公開予定



ガイドブック案 (イメージ図)



2. 定義・理念・意義と今後予定する取組

定義

AMEDでいう「医学研究・臨床試験における患者・市民参画」とは、医学研究・臨床試験プロセスの一環として、研究者が患者・市民の知見を参考にすること、とする

※患者・市民：患者、家族、元患者（サバイバー）、未来の患者を考慮

理念（臨床研究における患者・市民参画を進めることにより実現されること）

- 患者等にとってより役に立つ研究成果を創出する
- 医学研究・臨床試験の円滑な実施を実現する
- 被験者保護に資する（リスクを低減する）

<AMEDのミッション>

- 患者さん一人一人に寄り添い、その「LIFE（生命・生活・人生）」を支える
- 医療分野の研究成果を一刻も早く実用化し、患者さんやご家族の元に届ける

意義

- 研究者にとって
 - ・ 研究者が研究開発を進める上での新たな視点と価値を獲得することができる
 - ・ 患者の不安・疑問点を解消し、医学研究・臨床試験の理解を促進することができる
- 患者・市民にとって
 - ・ 医学研究・臨床試験の参加者にとっての利便性を向上、理解を促進させることができる
 - ・ 患者等・市民にとって医学研究・臨床試験が身近になり、医療に対する関心を高めることができる

なお、「医学研究・臨床試験」のうち当面、主として人を対象とした、医師主導治験・介入研究・観察研究（非介入研究）等が対象となるものと想定している

今後予定する取組（現在調整中）

- 公募要領・研究提案書・成果報告書において、PPIの取組に関する記載を求める（※平成31年度以降の事業の公募分より）
- PPIガイドブック（初版）を活用し、取組の啓発・普及・活性化を図るとともに、ガイドブックのアップデートを図る
- PPIの取組と関連し、AMED事業の研究に協力・参加した患者等の人数の調査を行い、公表する